

平成 26 年 6 月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 伊 東 英 二

書記 鈴 木 和 賀 子

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 平成 26 年 7 月 4 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 10 分

◆場 所 壺番館庁舎 3 階 共用会議室

◆出席委員

委員長職務代行者 太田 忍 委 員 山田 達磨
委 員 池野 暢子 教 育 長 高橋 睦麿

◆欠席委員

委 員 長 柴田 仁市郎

◆事務局

教 育 部 長 菅原 靖彦
生涯学習課長 渡辺 常幸 学校教育課長 高橋 義孝
市民交流センター館長 本田 幹枝 教育総務課長補佐兼総務係長 伊東 英二
教育総務課専門主査 鈴木 和賀子

◆定例会次第

- 1 開会
- 2 欠席委員の報告
- 3 前回会議録承認
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 議案
 - ① 専決処分報告 予算案に対する意見について（平成 26 年度補正予算）
- 6 教育長報告
 - ① 第 2 回管内教育長会議について
 - ② 教育委員会関連事業について
- 7 教育部長報告
 - ① 塩竈市震災復興計画の関連事業等について
 - ② 市議会定例会等について
- 8 その他報告
 - ① 児童生徒状況一覧（平成 26 年 6 月分）
 - ② 塩竈市公民館本町分室及び塩竈市杉村惇美術館指定管理者選定について
 - ③ 籬が島の名勝「おくのほそ道の風景地」指定について
- 9 閉会

1 開会

午後 1 時 30 分

2 欠席委員の報告

太田委員長職務代行者から柴田委員長が欠席である旨報告

柴田委員長に代わり、太田委員長職務代行者が議事の進行を行う旨宣言

3 前回会議録承認

高橋教育長から報告、承認

4 会議録署名委員の指名

池野委員と高橋教育長を指名

5 議案

- (1) 教育総務課長補佐、学校教育課長及び生涯学習課長から、以下の
ことについて説明

①専決処分報告 予算案に対する意見について(平成 26 年度補正予算)

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

・山田委員

豊かな心を育てる研究指定校事業について、県内では小学校 1 校、中学校 1 校の指定なのか。また、第三中学校はどのような形で指定されたのか。

・高橋学校教育課長

はい。指定方法については、まず宮城県教育委員会が県内全小中学校に公募した。しかし、希望がなかったため県教委から塩竈市に打診があり、第三中学校で希望し指定された。

・太田委員

公開研究会は、一般の方でも参観することができるのか。

・高橋学校教育課長

はい。授業は、道徳の授業と特別活動として学級活動の授業の参観を考えている。

・太田委員

復興支援合同演奏会事業についてだが、プロのミュージシャンがくるのか。ボランティアで協力いただけるのか。

・高橋学校教育課長

はい。昨年と同じプロのミュージシャン、シャープアンドフラッツ

がくる予定である。70万の予算のうち58万2千円を協力者謝金として計上している。

・太田委員

この事業は、中学生には嬉しいと思う。プロと合同で演奏できるのは、とてもいい経験になり心が豊かになると思う。

また、杉村惇美術館にピアノを寄付することは可能か。また、新しい大講堂でピアノを舞台にあげるスペースがあるか。

・渡辺生涯学習課長

寄付については、調べたい。また、舞台も広くなったのでスペースについては検討したい。

・太田委員

美術館は5時で終了なのか。土日も開館するのか。

・渡辺生涯学習課長

閉館時間は、原則5時にして、特別の場合については館長の権限で時間延長できるとしている。土日も開館する。

・池野委員

この利用料金で採算は合うのか。

・渡辺生涯学習課長

必要とする費用に占める利用料の割合は、他の公共施設より採算が悪く1割ほどである。平成26年度は5か月分として1,100万円、平成27年度からは2,300万円を市から運営費として支出する。利用料金については、指定管理者の収入になる予定であり、お客さんが入る企画をすれば指定管理者の収入につながるということにしている。

・山田委員

年間の入場者数の見込みはどのくらいか。

・渡辺生涯学習課長

1万人で試算している。ただ、利用料金を負担する入場者数としては、他市の事例を参考に年間3500人で試算している。試算では、200～250万円の利用料を見込んでいる。

6 教育長報告

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告

- ① 第2回管内教育長会議について
- ② 教育委員会関連事業について

[主な質疑]

・山田委員

小中一貫校の問題点として教育免許の問題があるかと思うが、小中両方の免許を持っている教員は少ないのか。

・高橋教育長

現況は、両方を持っている教員は多くない。今の大学では、小中両方の免許を取得するような進め方をしているようだ。学校現場でも、教員になってからも取得できるため小中一貫校や管理職選考試験の関係で取得する指導をしている。

・山田委員

在職してから取得する場合には、長期の夏休みなどを利用してのスクーリングや通信教育等でとることができるのか。

・高橋教育長

免許制度自体を見直す等の報道もある。現在は、小学校・中学校両方の免許をとることはだいぶ厳しい単位数である。現場で取得する時には、スクーリングで取っていたが、日常業務のなかで勉強するので大変なことである。

・山田委員

浦戸の小中一貫校を平成 27 年度から始める予定だと思うが、教員免許等他に問題点はないのか。

・高橋教育長

浦戸の小中一貫校は、視野に入れて動いていたので人事異動などで小中の免許を持った教員を配置していただいたり、中学校の職員を小学校に兼務発令していたりしている。現在も、複式学級にしないという方針であり、中学校の教員の乗り入れをすることで授業を行ってきた。そのため、小中一貫校になったから困るということは今のところない。浦戸以外の学校についても小中一貫的指導をして欲しいという希望がある。小学校中学校含めて 9 年間のカリキュラムを作ること、相互乗り入れをしながら生徒指導上の課題解決を図ること等、中一ギャップについての指導についても効果が期待できるとのことである。

6 教育部長報告

(1) 菅原教育部長から、以下のことについて報告

- ① 塩竈市震災復興計画の関連事業等について
- ② 市議会定例会等について

〔主な質疑〕

なし

7 その他報告

(1) 高橋学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① 児童生徒状況一覧（平成 26 年 6 月分）

[主な質疑]

なし

(2) 渡辺生涯学習課長から、以下のことについて報告

① 塩竈市公民館本町分室及び塩竈市杉村惇美術館指定管理者選定について

② 籬が島の名勝「おくのほそ道の風景地」指定について

[主な質疑]

なし

8 閉会

午後 3 時 10 分

《會議録署名委員》

3 番委員

(池野委員)

5 番委員

(高橋教育長)